

令和 2年 4月10日

横須賀市長 上地克明 殿

緊急要請書(2)

原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

共同代表	呉 東	正 彦
同	新 倉	裕 史
同	小 林	麻 利 子
同	今 野	宏
同	三 影	憲 一

CNNニュースは、4月9日、米統合参謀本部副委員長のジョン・ハイテン氏が、横須賀基地内で定期修理中の原子力空母レーガンで15名のコロナウィルス陽性感染者が発生していると報道しました。(資料1)

また、デイブ・ブラウン氏によると、グアムに寄港中の原子力空母T・ルーズベルトでは、3月5日にベトナムのダナンに寄港して以来、5000人が狭い閉鎖空間に暮らす艦内で、感染者が拡大し、乗組員の大半を下船させ、隔離して、検査と、艦内の消毒を実施中ですが、すでに97%の乗組員の検査の結果、416名の感染者が確認されているとのことです。(資料2)

米海軍横須賀基地内の艦船及び今後横須賀基地に入港する艦船で、同様の事態が発生しそれが横須賀市民に影響を与える危険性が高まっています。

また、多数の乗組員が狭い、隔離されていない空間で寝泊まりしているレーガンの乗組員の生命健康にとっても、大変危機的な事態です。

横須賀市は今こそ、緊急に、

- 1、レーガンと他艦船乗組員についての詳細な感染・対策情報の提供と市民への公表
- 2、グアムのルーズベルトと同様、コロナウィルス感染がレーガン全体に広がらないよう
 - ①横須賀、池子、根岸基地内に乗組員の隔離施設の確保
 - ②艦内で寝泊まりしている乗組員の下船、隔離と全員検査
 - ③陽性の患者に対する隔離治療、医療体制の相互支援
- 3、乗組員の基地外外出禁止の徹底
- 4、ルーズベルトと同様の事態が発生しないよう、感染が収束するまで出航しないこと、を、市民と、その友人であるレーガンの乗組員の安全を守るため、米海軍と日本政府に申し入れて下さい。